

交通安全市民会議ニュース 3月号



～ ポカポカ陽気 春の運転で注意すべきこと ～



だんだん気温も暖くなり、まもなく春休みですね。お花見や旅行など遠出の予定のある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、春は穏やかな気候である一方、車を運転する際にこの季節ならではの注意点があります。

居眠り運転に注意!

暖くなると、ついウトウトしてしまいがちですが、運転中の居眠りは重大な事故につながる危険な行為です。年度末の多忙なこの時期、睡眠不足も居眠り運転につながります。※運転前日の睡眠時間が4時間以下になると、居眠り運転事故の発生率が急上昇します。(※「交通事故総合分析センター」調査)



十分な睡眠時間を取り、運転中は疲れを感じる前に休憩を取りましょう。眠気を感じたら、車を止めて仮眠をとったり、車から降りて新鮮な空気を吸いながら体を動かし、血液の循環を良くして脳を覚醒させましょう。

初心者ドライバーへの配慮を!

この時期は、新生活に向けて新たに運転免許を取得した初心者ドライバーが多くなります。初心者ドライバーは運転に不慣れなため、思わぬ動きをしたりゆっくり走ってしまうかもしれませんが、イライラしてあおり運転をしたり、クラクションを鳴らして焦らせたりしてはいけません。(道路交通法第71条第5号の4)



ベテランドライバーの皆さんも、ぜひ初心者だった頃の自分を思い出し、初心者マークを見かけたら、思いやりとゆとりを持って初心者ドライバーが走りやすい環境を作りましょう。

お花見シーズン、わき見運転に注意!

満開の桜に見とれてわき見運転をすると、道路交通法における「安全運転義務違反」となるおそれがあります。また、お花見で酒に酔って車道に飛び出してくる歩行者がいる可能性も考慮しましょう。道路に桜の花びらが落ちていて、急ブレーキをかけるとスリップする危険があります。万が一の事故を回避するため、普段よりも車間距離を取り、スピードを落として走行しましょう。



4がつからしょうがく1ねんせいになるみなさんへ

どうろをわたるときは、「とまる・みる・まつ」+「ありがとう」



がっこうへいくときや、いえにかえるときは、「くるま」や「ばいく」にきをつけよう!



ふざけてあるくとあぶないよ! こうつうる一をまもろうね

例年、小学1年生の交通事故が多発しています。ご家庭や地域でも繰り返し教えて、こどもを交通事故から守りましょう。



とまってくれて
ありがとう



【発行】 豊田市交通安全市民会議事務局
(豊田市役所 交通安全防犯課内) TEL0565-34-6633